

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

公表: 令和6年3月1日

事業所名 児童発達支援 放課後等デイサービス みつばち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	訓練指導室は56㎡あり国の基準である児童3.0㎡/1人を確保している。又、集団活動、個別療育の場も確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	10人/1日の職員体制である児童発達支援管理責任者1名児童指導員2名以上を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	イラストやホワイトボードを使い、利用者がわかりやすいように環境作りをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	毎朝、業務終了後に清掃を行っています。また消毒し感染症対策も行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	職員のミーティングを欠かさず行っている。休んでいる職員にも共有し相違があれば都度ミーティングで改善している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	評価表にあたっての職員会議を行い、改善に繋げている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	昨年度に続きホームページに公開した。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	利用者のご家族様と施設職員での評価としている。今後は役所主催の部会などに参加し評価頂き改善に努めたい。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	療育の質を高めるため毎月社内研修、外部研修の実施また参加している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	保護者と面談を行い、ニーズを把握したり行動観察を記録し会議を行い、個別支援計画の作成をしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	外部での発達検査の結果等を参考にアセスメントを作成している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	児童発達支援ガイドラインに基づいた支援計画を立てている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	2	個別支援計画に沿った支援を職員全員が心掛けている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	日々課題内容や指導方法をミーティングで話し合い、職員で共通の持ち取り組んでいる。相違があれば修正し職員の役割サポートに努めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	日替わりで全体プログラムを設定している。内容は年齢、発達に合わせている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		発達支援に応じて個別、集団課題に取り組んでいる。出来る事を伸ばし社会性の課題を支援にしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		毎朝ミーティング、振り返りを行い、利用者のプログラム作成、役割分担、支援方法と想定表を作成しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		利用終了後、個人記録を記入してミーティングを行い次の支援に繋げていっている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		個人記録を基にミーティングを行い次の支援、改善に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		6カ月に1回見直している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		毎月事業所の定例会議、また役所の担当者と話し合う時間を設けている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3		保健相談所、保育園、幼稚園と情報の共有をし連携を取り合っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		医療的ケアが必要な児童の利用は今現在なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		医療的ケアが必要な児童の利用は今現在なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		保育園、幼稚園とも密に連絡を取り合い、情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		保護者と連携を取り合い、就学支援シートを利用し情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		一部の職員は受けているが全員は受けていないので今後計画している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		交流活動の実績はないが保護者の意向を聞き検討したい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		参加できていないので機会があれば参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		職員全員が利用者の事を把握し、その日の様子や課題について共通理解を持つよう心掛けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		研修参加を予定している。各家庭との情報共有は密にとっている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		利用契約時に説明しているが、不明な点があれば随時職員が説明しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		契約時個別支援計画に基づき説明している。半年を目安にモニタリングを行い支援内容に同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		定期的に訪問や電話相談を行い保護者に話を伺っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		ニーズに合わせ保護者間でコミュニケーションがとれるような行事を企画している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		相談や申し入れがあった場合は電話や面談にて迅速かつ適切に対応にあたっています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		毎日の連絡帳で日々の様子を伝える連絡体制をとっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		個人情報は鍵付きの書庫で保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		視覚的な教材を利用したりホワイトボードにイラストを張ったりし配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		地域イベントに参加したり自治会との連携を計っていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		職員会議にて対応方法の確認を行ったり保護者にも周知・徹底しているが十分でない部分もあるため見直しを行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		緊急時に避難訓練を行ったがさらなる内容の徹底が必要に感じたので今後の課題として取り組む。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		保護者記入のフェイスシートにて把握している。健康上の配慮点、注意点を職員一人一人が意識できるよう確認と周知を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				今現在では食物アレルギー対象の利用者はいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		危険な事例があった場合、報告書に記載しミーティングを通して職員に共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		職員ミーティングにて社内研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		身体拘束に関しては利用者本人の生命や身体保護する為の緊急を要する場合に行うことを条件に職員の共通認識としている。保護者にも契約時に説明している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。